

2月13日から28日を会期として第1回定例会が開催されました。ここでは、各常任委員会での予算議案ごとの主な審査内容を紹介します。「議会だより」委員会活動報告特集を16頁～17頁(中央部)に差し込む形で掲載しています。併せてご覧ください。



議会だより

第1回定例会

議会の情報は下関市の
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

問…委員(議員)からの質疑など
答…市役所執行部からの答弁など

～新年度各会計

予算案を可決

◎議案第9号

平成25年度下関市一般会計予算

問 対前年度比で1・8%増となっているが、骨格予算としてどうなのか。

答 この当初予算は経常的経費に加えて継続的な事業や例年実施している事業を予算化したものであり、新たな計画策定や新規建設事業などは含めていない。規模が1・8%の増である主な要因は前年度から継続している大型の建設事

業が、前年度と比較して約60億円増加したことである。

▽総務費

問 地上デジタルテレビ中継局整備事業費補助金2500万円を新たに予算計上した理由は。

答 難視聴世帯に向けた暫定的な衛星デジタル放送が平成27年3月末で終了予定であるため、難視聴地域対策として、国と放送事業者が豊北町に中継局を建設することとなった。中継局設置後も視聴可能な世帯を平成25年度末までに特定し、共聴施設の新設などを検討する必要がある。中継局の建設には1年を見込むため、この補助金を当初予算に計上した。

問 中継局設置後、豊北町の難視聴対策が必要な100世帯のうちどの程度カバーされるのか。

答 電波を流してみないと正確には分からないが、半分以上はカバーできると考えている。

▽民生費

問 就労移行支援費の減額の理由は。新年度の予算要求は、過去の実績を基に行った。

答 平成24年3月に策定された「障害福祉計画」では、就労移行支援サービスの利用量の増加を見込んでいたが、予算では減額を見込んでいるのは矛盾していないか。

答 市としては、このサービスの

利用量が増加する方向で支援をすることを考えている。

問

平成24年3月に策定された「第5次いきいきシルバープラン」の計画では、緊急通報装置の設置の助成、日常生活用具給付、生活支援訪問サービス、寝具洗濯乾燥サービス、訪問理美容サービスなどの事業について利用者を増やすことになっているが、予算が減額

あるいは前年度同額となっている。作ったばかりの計画であるにもかかわらず、現実的な見込みにより予算計上するというを行っていいから作っただけという印象を受けるがどうか。

答 計画通りの努力を行い、数字が目標通りに伸びていった際には、財政当局に補正予算をお願いする。

▽農林水産業費

問 幼保一体化施設への取り付け道路として、川棚90号線農道の整備費が計上されているが、骨格予算で計上する必要があるのか。

答 施設を建設する場合、工事などを行う関係で、まずはアクセスのための道路整備が必要である。

問 ニューフィッシュャー確保育成推進業務の実績は。

答 新規漁業就業者の経営を支援するものであり、最初の1年間は国が、2年目と3年目は県と市が共同で、計3年間の支援を行うも

下関駅周辺整備事業



のである。これまで14人、15人がこの制度を利用して新たに漁師になった。現在も7人がこの制度を利用して利用している。地元漁業組合の方々も一生懸命で、近年、この事業は順調に推移している。

▽土木費

問 下関駅周辺整備事業について、「暮らし・にぎわい再生事業補助金」として、約8億7000万円、工事施工負担金として、約5億9000万円、補償金として、約5億8000万円、合計で20億円に上る予算が計上されている。シネマコンプレックス(複数のスクリーンがある映画館)と立体駐車場の整備の事業費は18億、19億円のうち、補助金が約5億円、市の負担

金が約7億円となっている。当初の事業計画よりも市の負担割合が増えているのではないかと。

答 補償費については、補償の最終年度のため額的には大きいですが、22年度に契約を済ませている案件であり、この部分が今回増えたということはない。「暮らし・にぎわい再生事業補助金」の対象は、下関駅ビルやシネマコンプレックスの施設内通行部分と立体駐車場であり、これら公共の用に供する部分の整備費の3分の2を補助するものである。

負担金については、シネマコンプレックスの1階部分を南口交通広場として整備するため、その工事費の増加分を容積比から費用負



コミュニティ・スクールの様子

担するもので、その額は24年度の繰り越し分を含めて、約7億円となっている。これらの算定について、問題ないと考えている。

問 高齢化時代に対応した公営住宅の在り方について。

答 既存の市営住宅に新たにエレベーターを設置する計画はなく、市営住宅を更新する際に、バリアフリーに対応した市営住宅への移転を勧めている。高齢の方には、診断書の提出があり、低層階に空きがあれば移っていただくことも行っている。

意見 この方法では対応が長期的になる。難しい問題ではあるが、市民の納得が得られるような方策を研究すべきである。

▽教育費

問 地域と共にある学校づくりを進める仕組みのコミュニティ・スクール事業の予算が昨年度と比べ増額されているが、まだ不足している。十分な予算措置と考えているのか。

答 十分であるとは認識していない。今後とも各学校の取り組みを注視しながら、教育委員会としてできる限りの支援を行っていく。地域人材を教員活動に活用するための経費として、各学校に対し、1万6000円を総合学習等推進事業で予算化している他、6月補正予算では地域や保護者の方が、

休日などに子供の学力向上を支援する補習教室の予算を要求することとしている。

問 コミュニティ・スクールの実施で重要と思われるコーディネーターの育成や雇用費用の措置、運営協議会などの運営要綱の作成について、どのような考えを持っているのか。

答 平成25年2月1日をもって全ての地域でコミュニティ・スクール運営協議会が立ち上がったので、要綱についてはその状況を見て各学校からの要望を把握し、検討したい。コミュニティ・スクール事業は教育委員会全体で総合的に考えていかなければならない。

◎議案第29号
平成25年度下関市競艇事業会計予算

問 場外発売場に対する基本的な考えと戦略について。

答 基本的には本場への来場促進が最も重要ではあるが、競艇場から半径20^キ以上離れている方の本場への来場は見込めない。そのため、電話投票の拡大や、経営改善への大きな寄与が期待できる小さなコンビニ的ミニポートピアなどの設置を推進していきたい。

問 平成26年度からの地方公営企業法全部適用に向けた25年度の取り組み内容について。

答 会計制度が移行してまだ約10カ月であるが、職員の意識は非常に向上している。収益事業としての礎が少しはできたのではないかと。全国モーターボート競走施行者協議会でも推進している背景があるので、さまざまな面で機能強化を図るべく地方公営企業法の全部適用に向けた準備を進めていきたい。

○審査結果
第1回定例会では、これらの議

案を含め73件が提案され、一部反対があった議案もありましたが、いずれも原案のとおり可決(または同意)されました。
各議案に対する議員個別の賛否の結果は市ホームページをご覧ください。

■下関市議会議員補欠選挙結果

平成25年3月10日に下関市議会議員補欠選挙が行われました。鬼頭薫氏が当選しましたので、紹介します。※()内は所属党派名と所属する委員会 ※平成25年4月1日現在



鬼頭 薫 議員
(無所属 建設委員会)

◆今後の予定について◆

5月臨時会と6月定例会が予定されましたのでお知らせいたします。※今後、変更となる場合があります

第2回臨時会(5月)

日	曜日	会議など
10	金	本会議(提案説明など)
11	土	休会
12	日	休会
13	月	本会議(表決など)

第2回定例会(6月)

日	曜日	会議など
10	月	本会議(提案説明など)
11	火	本会議(代表質問)
12	水	本会議(代表質問)
13	木	本会議(個人質問)
14	金	本会議(個人質問)
15	土	休会
16	日	休会
17	月	常任委員会
18	火	常任委員会
19	水	常任委員会予備日
20	木	常任委員会予備日
21	金	休会(整理日)
22	土	休会
23	日	休会
24	月	本会議(表決など)